

イノベーション部門

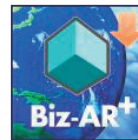
マンホールふたを活用した官民協働による地域の活性化

石川県かほく市

『AR※マンホールの仕組み』



スマートフォンを
マンホールにかざすと



専用アプリ

PR広告(動画)起動



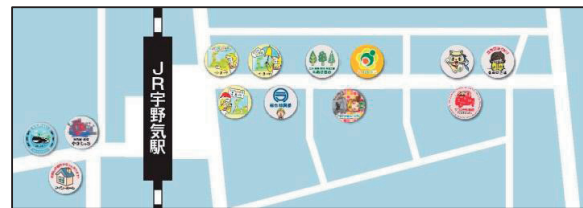
事業の効果

話題性による売上アップ!
設置箇所周辺のにぎわい創出!
下水道事業のイメージアップ!

※AR(拡張現実)とは、スマートフォンなどを使って映し出した画像に、さまざまな電子情報を重ねて表示することで、現実の映像を「拡張」し提供する技術。

『設置箇所』

11企業・団体のマンホールふた、
15枚を主要駅周辺の歩道内に
設置しました。



『協賛企業・団体(50音順)』

(株)あけぼの、(有)今村興業、(学)宇ノ気学園、(有)うのけ書店、管路管理総合研究所、(株)コスモ自動車、(株)西原環境、(有)マインドホーム、(株)まつや、やまじゅう、(特非)若葉。

PRポイント!

- 石川県かほく市では、マンホールふたを広告媒体として企業などに貸出す事業を始めました。下水道の周知と地域の活性化が狙いで、企業ロゴ等がデザインされたマンホールふたにスマートフォン(多機能携帯電話)をかざすと動画が流れるという機能を持たせました。
- ①単なるマンホールふたの広告でなく、『AR(拡張現実)』を活用した動画再生機能を持たせました。
 - ②市商工部局と連携することで、下水道事業以外の地元の小さな企業が参入しやすい形をつくり、地域の活性化につなげることができました。



かほく市広報誌

Key Person



かほく市マスコット
キャラクター
『にゃんたろう』

マンホールふたに企業広告を入れる取組みは、珍しい事例であったため、石川県景観総合条例との調整に苦労しました。また、設置に関しては、マンホールデザインを事前に景観審議会に諮り、周辺環境に配慮したデザインに調整を行いました。